

ぬまピタル



沼津市立病院 広報誌
2018年1月1日号 vol.4



●シリーズ「専門家にきく」 消化器内科医長 宮城島 大輔 医師 ピロリ菌について

PICK UP

多職種連携の入院支援窓口を開設しました！

平成29年10月2日(月)、入院される患者さんに対する手続きの一元化を図るため、**入院センター**を開設しました。入院センターでは、看護師・薬剤師・事務員等が、入院に関する説明や各種書類の手続き、医師の指示や持参薬の確認などを行います。各分野の専門職が連携し、患者さんやご家族の支援、入院時の不安解消などに努めます。

※入院センター・・・総合案内裏に専用ブースを設置。受付時間：8時30分～16時

ご利用の流れ



①外来診療、入院予約

外来診療医師が、入院の予約を行います。

②入院事前受付手続き

外来看護師の指示を受けた後、総合案内にお越しください。入院センターにて、入院手続き等の説明や記入、医師の指示や休薬の確認等を行います。

③入院日当日手続き

入院当日は、総合案内にお越しください。書類の確認や持参薬のチェック、検温を行います。

④入院

入院手続き完了後、病棟に行ってください。ナースステーションにお声をかけてください。



入院センタースタッフ

INFORMATION

行事・イベント情報

●市民公開講座

第25回「インフルエンザの予防と感染防止対策」

・日時：平成30年1月27日(土)
13:30～14:30
・場所：当院 講堂
・講師：感染防止対策室
副主任看護師 内村 奈美

第26回「毒性生物の対症療法」

・日時：平成30年2月24日(土)
13:30～15:30
・場所：沼津市立図書館4階
視聴覚ホール
・講師：皮膚科部長 秦 まき
ほか

●看護学生対象インターンシップ

・日時：平成30年3月14日(水)、15日(木)
・場所：当院(病棟等)
・申込方法等の詳細は、HPでご確認ください。

行事・イベント情報はHPの最新情報をCHECK! ➡



● 杖一本
ファッションとおもえ
カッスイ

● スリッパをはくのはやめよう
転ぶから

● これがいい自分に合った
はきものを

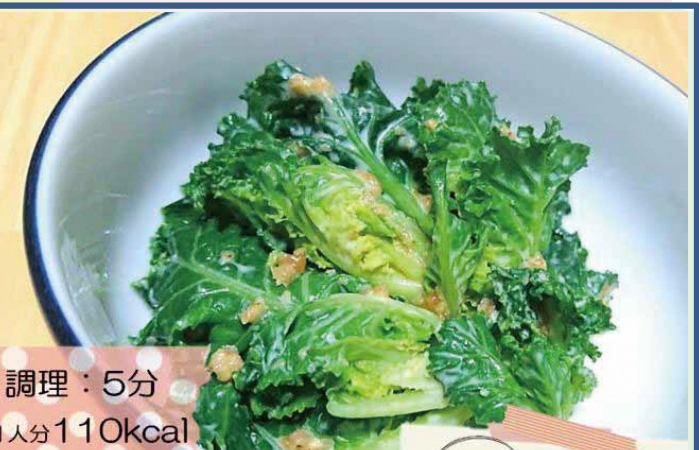
● 身の丈に合わせて歩む
杖の先

● 仙人杖自由の大地に
ときはなつ

医療安全作業部会では、転倒・転落防止の一環として、院内において転倒・転落防止をテーマとした川柳を募集いたしました。今回は、集まった川柳の中からいくつかの作品を皆さまに紹介いたします。

川柳

転倒・転落防止



調理：5分
1人分110kcal

+1品 おいしい簡単レシピ

芽キャベツとケールを交配させた沼津の特産 プチヴェール♪
ビタミン・ミネラル、食物繊維も豊富！栄養満点でどんな料理でもばっちり。油と一緒に摂ると、吸収率もUP！
プチヴェールのごま風味和え

【材料 2人分】

プチヴェール -----1袋
すりごま -----大さじ1
砂糖 -----小さじ2
みそ -----小さじ2
マヨネーズ -----小さじ2
★ フロッコリーや菜の花もオススメ♪

1. プチヴェールを洗い、食べやすい大きさに切る。
2. たっぷりの湯で2分ほど茹でる。ざるにあげ、水気をしっかりきる。
3. ボウルに★の調味料を入れてよく混ぜ、食べる直前に1.を和える。
4. 器に盛り付けて、できあがり♪

沼津市立病院

【基本理念】
市民のために 共に歩む病院

〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木550
発行：広報委員会・病院管理課経営企画係
Tel: 055-924-5100 (内) 2370 mail: byoin-so@city.numazu.lg.jp
<http://www.numazu-hospital.shizuoka.jp>

次号(H30.4月)の「専門家にきく」は、神経内科・姉崎医師「認知症について」(予定)ぬまピタルについてのご意見、ご感想をお待ちしております。

宮城島 大輔 医師

ピロリ菌について

胃がんや胃潰瘍の原因といわれ、最近テレビなどでもよく耳にするピロリ菌。しかし、その実態はあまり知られていません。どんな菌なの？ どのように感染するの？ 感染者は増えているの？ ピロリ菌に対する様々な疑問を、消化器内科医長・宮城島大輔医師に伺いました。（聞き手は篠崎正美副院長）

Profile

宮城島 大輔（みやぎしま だいすけ）

2004年に浜松医科大学を卒業後、総合内科および上下部内視鏡研修を経て、2009年より当院で勤務。消化管、肝胆臓疾患の診療に携わる。趣味はシュノーケリングやダイビングで、毎年10回以上は海に潜り、身体をリフレッシュさせている。家庭では、子どもとつかまえてきた様々な魚たちを飼育しており、その成長を見守ることが日々の楽しみの一つである。

（専門分野・資格）

- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本肝臓学会専門医

（ピロリ菌の検査方法）

内視鏡を使用する検査方法

①培養法	胃の粘膜を採取後に、それをピロリ菌の発育環境下で培養し、ピロリ菌が増えるかどうかを調べる方法。
②迅速ウレアーゼ試験	ピロリ菌が持つ、ウレアーゼという酵素の活性を利用してアンモニアの量を調べる方法。特殊な反応液を使用し、色の変化でピロリ菌の有無を判定する。
③鏡検法	組織を採取し、胃の粘膜の標本に特殊な染色をして顕微鏡で観察し、ピロリ菌を採取する方法。

内視鏡を使用しない検査方法

①尿素呼吸気試験法	検査薬を用いて、服用前後の呼吸を採取し二酸化炭素の量を数値で比べて診断する方法。検査時間が約30分と、短時間で検査ができる。
②抗体測定	血液や尿などを採取して、ピロリ菌に対する抗体を測定する方法。
③糞便中抗原測定	糞便を採取して、糞便中にみられるピロリ菌の抗原有無を調べる方法。

出典：healthクリック

検査と治療の方法

Q・ピロリ菌の検査方法は。

A・検査方法は内視鏡を使用する検査と、使用しない検査に大

ピロリ菌が胃がんの原因のすべて！？

胃がんの危険因子として最も重要とされているのはピロリ菌感染であり、**ピロリ菌陽性者は陰性者に比べて胃がんの発生リスクが5倍以上**であるといわれています。

しかし、感染者のすべてが胃がんになるわけではなく、生活習慣や食生活も関係しており、**喫煙や塩辛い食事**などは胃がんのリスクを上げるといわれています。

禁煙を心がけたり、高塩分の食品を摂り過ぎず野菜・果物を積極的に摂るようにして、胃がんの予防に努めましょう。

大きく分けることができます（左上図参照）。患者さん一人一人の状態を把握し、それぞれの検査の特徴を考え、患者さんに最も合った方法で検査を行います。

Q・治療方法は。

A・ピロリ菌を除菌するには、一週間の内服治療が必要です。抗菌薬と胃酸分泌抑制薬を服用することになりますが、強力な胃酸分泌抑制薬の開発が進んだことにより、除菌率は大きく改善しています。現在では患者さん一人一人のピロリ菌の状態に応じた治療が一般的であり、当院においても、できる限り内視鏡検査を行い、ピロリ菌を培養し、

感染経路と感染者数

Q・ピロリ菌の感染経路は。

A・ヘリコバクター・ピロリ（以下、ピロリ菌）は、親から子へ感染するといわれており、母親が口移しで乳幼児に食べ物を与えるなど、唾液を介して感染すると考えられています。以前は井戸水の中にピロリ菌が生息し、そこから感染するという説もありましたが、現在は人から人へ

基礎知識

ピロリ菌ってなに？

ピロリ菌の正式名称はヘリコバクター・ピロリ。1980年代にオーストラリアの研究者によって発見された細菌で、人間の胃の中で生息できる一風変わった細菌です。

どうして胃の中に生息できるの？

胃には非常に強い酸（胃酸）が分泌されていますが、ピロリ菌がもつ「ウレアーゼ」という酵素により、菌の周りをアルカリ性にするができます。そのため、周りを中和することができ、強い酸から身を守ることができるのです。また、ピロリ菌の端には複数のべん毛があり、その先には袋のような膜がついています。ピロリ菌はべん毛によって素早く移動することができ、胃の中の酸の弱そうところを探して生息しているといわれています。

出典：eo健康 ドクターiコラム

Q・ピロリ菌が原因となる主な病気は。

A・胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原

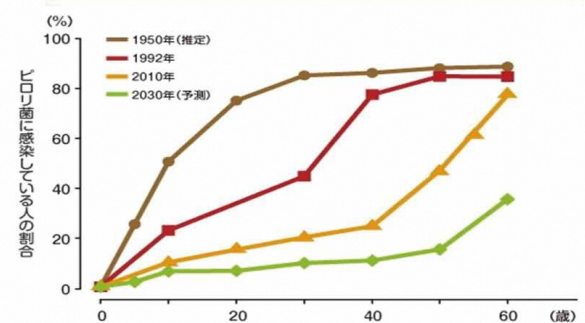
胃潰瘍や胃がんの原因

感染するという説が有力です。

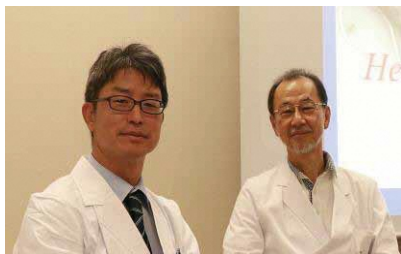
Q・感染者数の傾向は。

A・年齢に比例して感染率は上昇しますが、衛生環境が整ったことや除菌治療が広まったことなどにより、現代では減少傾向にあります（右図参照）。

日本人の年代別ピロリ菌感染率



出典：北海道医科大学浅香正博名誉教授の研究報告 / 引用：子育ての達人 (<http://kosotatu.jp>)



篠崎副院長（右）が聞き手を務めたインタビューの様子は、当院のホームページで公開中。こちらのQRコードからご視聴ください。



「ピロリン」とは！？

「ピロリン」とは、昨年7月1日（土）に開催した健康まつり2017において、消化器内科ブースが作成したピロリ菌をモチーフとしたキャラクターです。

たくさんの種類の「ピロリン」を取り揃え、来場者の方に配布をしたり、記念撮影をしたりと、みなさまからも好評をいただきました。

今年の健康まつりは6月30日（土）に開催予定です。ご家族揃って、ぜひ「ピロリン」に会いに来てください！



健康まつり！ぜひご来場ください！

今号の表紙

内視鏡検査室看護師

今号の表紙は内視鏡検査室の看護師たちが飾ります（中央は宮城島医師）。



内視鏡検査室では、「患者さんの苦痛をできるだけ少なく、安心・安全に内視鏡検査や治療を受けていただくこと」を目標とし、医師・看護師・技師など、多職種が連携したチーム医療の実践により、質の高い内視鏡診療を提供できるよう、日々努力しています！ピロリ菌検査のことはもちろん、胃カメラや大腸カメラ、大腸がん健診でお悩みがあればお気軽にご相談ください！

高木看護師長（前列左から2人目）の手には、昨年の健康まつりで大人気、「ピロリン」も！